



看護とちぎ



県東地区支部活動「まちの保健室&感染予防研修会」



CONTENTS

- 2 会長あいさつ
- 3 栃木県、宇都宮市との「災害時の医療救護活動に関する協定」締結
- 4 平成24年度理事会の動き
- 5 平成24年度理事あいさつ
- 6 平成24年度地区支部活動報告
- 8 第17回栃木看護学会学術集会報告
看護教員養成講習会報告
- 9 看護師確保対策「WLB推進委員会」活動報告
平成24年度新人看護職員応援研修事業報告
- 10 研修受講者の感想
- 12 看バック！再就業応援プログラム事業
- 13 看護職員イメージアップ対策PR事業
- 14 看護職員再就業支援研修を開催して
訪問看護師養成講習会で学んだことを活かして
- 15 「看護職のワークライフバランス推進ワークショップ」事業
- 16 平成25年度栃木県ナースセンター事業
ナースバンクニュース
- 17 こんな活動しています シリーズ5
ドクターカーの活動
- 18 私の職場の好きなおとこ シリーズ38
- 19 一般の方のコーナー
- 20 味自慢・ベットの自慢・お知らせ・編集後記

※黒字は看護協会のページ、青字はナースセンターのページになります。

会員数 10,466人 (H24.12.1現在)

保健師	472人 (4人)
助産師	308人
看護師	8,742人 (603人)
准看護師	944人 (68人)

男子は () で再掲



新年あいさつ



公益社団法人栃木県看護協会

会長 **河野 順子**

皆様、あけましておめでとうございます。
佳き新年を迎えられましたことと思います。

栃木県看護協会は、皆様のご協力により平成 24 年度の事業が順調に進んでいるところです。

なかでも、教育・研修は学術集会所も済み、おおよその事業が執行されました。

総会でご報告しました、東武宇都宮線南宇都宮駅徒歩1分（宇都宮市吉野町）のところにある栃木県看護協会看護研修センターの増築（120 席）工事は、6 月末の完成を目指し、いよいよ1月から始まりました。多くの研修が行えるように平成 25 年度の研修計画を立案中です。皆様にはあらためてご案内申し上げます。

さて、平成 24 年度のワーク・ライフ・バランス推進事業のワークショップは好評のうちに、行われました。施設全体の風土を風通しよくするということは、非常に難しいことです。職員の職場に対する向き合い方が変化した好事例が、今回の栃木県学術集会で発表されました。自分の働く職場環境や賃金などについて考えることは、長く働き続けるためには大切なことです。夜勤や長い勤務時間で疲れてしまい、休みの日が休息で終わってしまうようでは、看護の質の向上は望めません。

2 月には、参加 4 施設がそれぞれの課題に対し取り組んだ報告会として、フォローアップワークショップが開催されます。現在の職場の評価をすることで、働きやすい職場はそれをさらに維持・向上していく指標になります。参加病院の実態と改善目標が示されますので、ぜひご参加いただき一緒に考えてまいりましょう。平成 25 年度も新しい参加病院を募りますので、ご参加くださるようお願い申し上げます。

近々に平成 25 年度の重点事項をお示しし、皆様のご協力のもとで運営してまいる所存です。

どうぞ、よろしく願い申し上げます。



栃木県、宇都宮市との 「災害時の医療救護活動に関する協定」締結

10月9日、災害時に備え、県と念願であった「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結いたしました。

これにより、災害時には、県からの派遣要請に応じて、医師や薬剤師らと連携し医療チームの一員として救護活動を行うこととなります。

また、12月7日には、宇都宮市とも協定締結をいたしました。

現在、看護協会には「災害医療と看護」の基礎編・応用編の研修を受講し、災害支援ナースとして登録している方が169名います。一昨年の3.11東日本大震災では福島県の避難所で巡回相談や救護所の支援にあたりました。

災害は予測できませんが、医療救護活動に関わる派遣要請に応えられるよう、日々研鑽を重ねていく必要があります。



栃木県との締結式



宇都宮市との締結式

平成24年度 理事会の動き

専務理事 宇山 房子

第1回 平成24年6月16日(土)

1 協議事項

- 1) 役員の選定について
・ 常任理事の選定

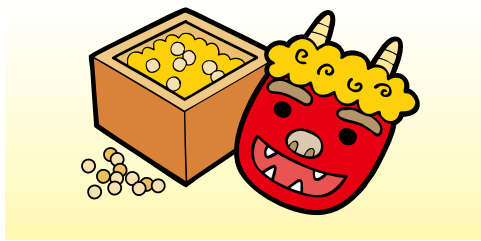
第2回 平成24年7月9日(月)

1 協議事項

- 1) 前常勤理事の退職慰労金について

2 報告事項

- 1) 事業の進捗状況(各担当から)
- 2) 総会決議事項の登記手続き結果について
- 3) 看護協会研修センター設計契約について
- 4) 訪問看護ステーションうつのみやの所有権移転について
- 5) 会計中間報告(4月～6月)
- 6) 理事の業務分掌について



第3回 平成24年8月20日(月)

1 協議事項

- 1) 役員報酬及び費用に関する規定(案)について
- 2) 社会福祉経済委員会規則一部改正(案)について
- 3) 研修センターの増築工事設計内容について

2 報告内容

- 1) 日本看護協会理事会報告
- 2) 全国職能委員長会報告
- 3) 職能委員会・委員会・地区支部報告
- 4) 「看護師特定能力認証制度」議論の進捗
- 5) 栃木県の災害時における医療体制について
- 6) 県より受託事業「喀痰吸引等研修」実施について

第4回 平成24年10月6日(月)

1 協議事項

- 1) 平成25年度予算の提出依頼について
- 2) 看護研修センター整備指名選考委員会の設置について
- 3) 県への要望事項について
- 4) 平成26年度日本看護協会代議員の公募について

2 報告事項

- 1) 日本看護協会理事会報告
- 2) 会計中間報告(4月～8月)
- 3) 事業の進捗状況(各担当から)
- 4) 第44回日本看護学会小児看護学術集会について

3 その他

- 1) 栃木県保健医療計画(6期計画)について

栃木県看護協会研修センター増築工事着工!

栃木県看護協会研修センターは、1月より増築工事がはじまりました。120名規模の研修を行うことが可能となります。

〈完成予定図〉



7月より研修が行われます。
栃木県看護協会ホームページ(<http://www.t-kango.or.jp>)
により進捗状況がご覧になれます。

とちぎ訪問看護ステーションうつのみや 移転

12月10日に下記住所へ移転いたしました。
地域のために活動してまいりますので、お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



〒320-0852 宇都宮市下砥上町643-1
TEL 028-612-6103
FAX 028-612-6104



理事あいさつ

—新年の抱負—

第1副会長 石川美知子

看護の質をあげ、地域住民の皆様の健康に寄与できるよう努力し、さらに幸せ一杯の1年でありますように!!

保健師職能理事 北山幸子

あけましておめでとうございます。保健師職能委員会では、今年も保健師の課題解決に全力で取り組んで参ります。

理事 飯島満枝

あけましておめでとうございます。今年は、柔軟性をモットーに行動していきたいと思えます。

理事 五月女幸子

巳は胎児の姿を表し、従来生活の終わりを意味する。年々臆病になる自分を励まし、今年は歩みを進めよう。

理事 山口久美子

「巳年:植物の種子が動き始める時期」にあやかって、昨年度のことを成果につながるようにしていければと思います。

第2副会長 鱒淵清子

公益社団法人として2年目を迎え、更に社会の期待に応えられるよう、組織的な活動の推進に努めていきます。

助産師職能理事 寒河江かよ子

新しい年を迎え、第一に健康であること。第二に助産師の連携強化を目指していくことが、我々の使命です。

理事 水戸美津子

在宅や介護保険関連施設で働く看護職との連携強化を図り、地区支部活動のさらなる活性化のために尽力したい。

専務理事 宇山房子

協会の未来へつなぎます。&「ロコモ予防体操」で、体力維持に努めます。

看護師職能理事 渡邊カヨ子

県内のあらゆる施設で働く看護師の皆さんが、健康で生き生きと働き続けることができる労働環境を目指して活動をしていきたいと思えます。

理事 久保智子

新年にあたり看護職の皆様一人ひとりが生き生きとワークライフバランスのとれた生活ができるよう支援します。

常任理事 馬込公子

新年あけましておめでとうございます。今年は巳年、賢明で粘り強い巳の特徴にちなんで前進したいと思います。よろしくお願ひします。

理事 上杉みつえ

地区支部理事2年目。栃木県看護協会とさらなる連携!! 『春風満面』このような気持ちでいる日々を大切にできる1年でありたい。

理事 檜山雄一

今年で理事任期満了。何か残せれば…と思っているのですが、ムズカシイ課題です。



理事 大関京子

巳年の人は堅い性格に肖り「納得のいく仕事」をモットーに、老いに負けず気だけは若く日々精進していきたい。

理事 朝野春美

会員の皆さまと共に、今年も栃木県看護協会の発展のために歩んでいきたいと考えています。

理事 関根照代

「いつも笑顔で元気よく!」楽しく仕事ができるよう、まずは健康管理に勤んでいきたいと思えます。

理事 小澤伸子

チャンス・チャレンジ・チェンジをモットーとし、この1年をアクティブに行こうと思えます。

理事 村上充子

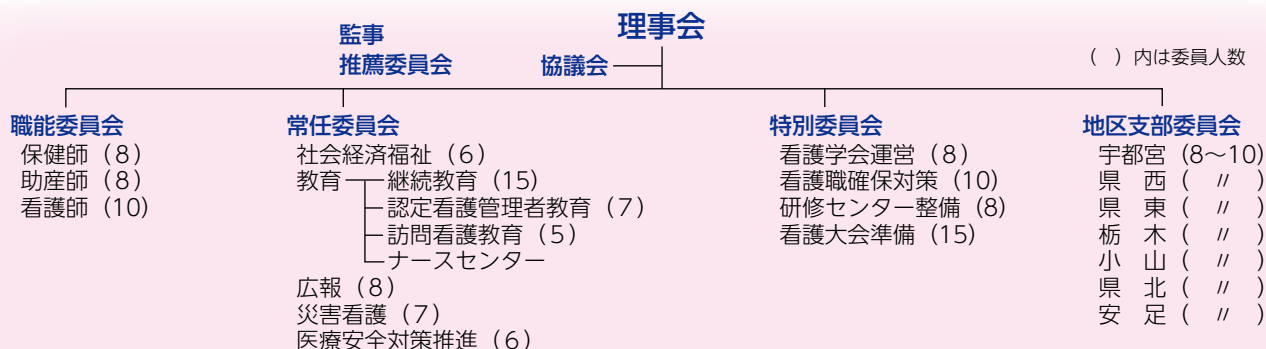
働きやすい職場づくりのために、何事もポジティブに自分らしく、がんばろうと思えます。

監事 齋藤由利子

「今年も新たなチャレンジをします」と公言しハードルを上げちゃいます。チャレンジは自分の元気の源です。

監事 荒木 剛

おめでとうございます。本年も、監事として職責をしっかりと果たしてまいりますので、よろしくお願ひします。



※ みなさまには、平素よりご協力を賜り感謝申し上げます。委員の任期は委員会の存続か否かにかかわらず、平成25年の総会の日(6月15日)までとし改めて委嘱状を交付いたします。任期満了等での委員交替に関しては、各職能委員長が2月15日までに交渉いたしますのでご協力の程お願ひいたします。



平成24年度 地区支部活動報告

宇都宮地区支部活動報告 会員に向けた研修会を実施して

宇都宮地区支部長 穂高 律子

1. 研修会

- 1) 6月21日(木)「高齢社会における認知症・せん妄患者の対応」
どの施設でも大きな問題となっている認知症の看護について、済生会宇都宮病院との共催で独協医科大学精神神経医学講座の大曾根彰先生の講演会を開催しました。支部役員48名、病院職員77名の参加があり、支部会員は一般の施設だけでなく、介護施設などからの参加もあり、認知症とせん妄の違いや事例を取り入れた実践向きの講演でした。
- 2) 9月8日(土)「肺がんの予防と治療」
市民のがん予防週間に合わせて保健センターと共催で、肺がんについて栃木県立がんセンター化学療法部部長、森清志先生の講演を宇都宮市保健センターで開催しました。看護職の参加は16名、一般の参加は57名でした。市民向けに基本的な内容と予防を中心にした内容であり、健康増進や予防という点で効果的な講演会でした。
- 3) 10月4日(木)「看護師職能委員会との交流会」
役員5名が参加し、看護職の労働環境に関する情報交換を行いました。
- 4) 10月19日(金)「笑いで心身のリフレッシュと会員の親睦を図る」
会員の親睦を図ることはもちろん、たっぴり笑ってリフレッシュすることを目的に、スカイツリーを眺めながら、水上バスでゆっくり浜離宮恩賜公園から築地まで行き、ルミネよしもとでお笑いを鑑賞してきました。会員32名が参加し、大いに笑い食べて、リフレッシュしてきました。
- 5) 11月30日(金)「感染看護 応用編」
平成23年基礎編の実施で、継続要望が多かったので、平成24年度は応用編として実施し、済生会宇都宮病院感染看護認定看護師の山野井由美子先生にご講演いただきました。

2. まちの保健室

4月から偶数月は宇都宮地区支部、奇数月は他の地区支部と宇都宮地区支部が協力し、毎月第3土曜日、宇都宮F K Dにて健康相談を実施しております。

平成25年度も、市民の健康増進支援のための研修と、高齢化への対応など会員向けの研修も計画していきたいと考えています。

県西地区支部活動報告 地区支部活動の充実を目指して

県西地区支部長 齋藤 浩子



県西地区支部は、鹿沼・日光地区に就労する会員713名で構成されています。平成24年度から支部長が交代となりとても不安でしたが、経験豊富な役員の方々に温かくご指導していただき楽しく運営しています。今年度は共催研修として、看護の質向上のために「人工呼吸器装着時の看護」「接遇研修」「緩和ケア研修」を行い、多数の参加がありました。「リフレッシュ研修」は、会員40名の参加で那須赤十字病院の耐震構造やアメニティなど見学し、他施設との親睦も図ることができました。地区支部活動への理解も深めていただけたと思います。「まちの保健室」は、例年通りジャスコ今市店で2日間行い170名の地域の方々に健康相談・介護相談を行い好評でした。さらに平成25年2月には、「がん患者が安心して在宅生活を送るための支援—病院と地域の密接な連携を考える—」をテーマにシンポジウムを開催予定です。今後も専門的知識を深め、地域住民の健康と福祉の向上に役立つ活動を行っていききたいと思います。



県東地区支部活動報告 公益社団法人となつての地区支部の役割

県東地区支部長 塩野谷晃江



県東地区支部は、地区別会員数が一番少ない支部ですが、役員をはじめ顔が見える横のつながりを大切にするとともに、地区支部として地域に根ざした活動を意識し研修会を企画・実施しました。

平成24年度研修テーマは①感染対策の基礎知識—ノロウイルス・疥癬・結核—②地域医療③褥瘡の見方とアセスメントでした。感染対策の研修会は、新しい知識を得られたとの意見がありました。地域医療は、一般住民の参加もあり、県東地区の医療の現状を理解することができました。褥瘡については、わかりやすい講義で実践に活かしたい等との意見がありいずれの研修会も好評でした。研修内容においては、昨年アンケートの希望をとりいれ検討し企画しました。



まちの保健室活動は、高校の文化祭のなかでの実施、道の駅もてぎでの実施など、まさに協会員として地域に出ていくことを心がけました。今後も協会員及び地域住民のニーズを把握し、研修会の企画を検討していきたいと考えています。

栃木地区支部活動報告

会津中央病院見学と会員の親睦を図る

栃木地区支部長 田中 京子

今年度の研修は、災害時の危機管理を学ぶことを目的に、福島県会津若松市の会津中央病院を見学しました。会津中央病院は高度専門医療機関として、地域の医療福祉に貢献している病院です。東日本大震災時は、近隣からの救急患者を受入れるために外来診療を中止し、救命救急センター前に仮設テントを設置しました。トリアージを実施し、職員総動員で対応したという説明に感銘を受けました。病院内見学では、ホテルのロビーを思わせる設備構造と、ナースコールの鳴らない看護に驚き、その充実ぶりは羨望的となりました。移動距離は長かったですが、往復の車内では参加した会員間の親睦を深められ、病院間の情報交換もでき、楽しい時間を過ごし有意義な研修となりました。



当地区では、今年度の研修として1月は「論理療法」2月に「東洋医学・足つぼマッサージ」を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

小山地区支部活動報告

小山地区支部の目標

小山地区支部長 渡井 恵

小山地区支部は、26施設 2,035名と35名の個人会員で構成されています。平成24年度から栃木県看護協会が公益社団法人に移行したことで、地区支部の活動も今まで以上に重要になったことを実感しています。



活動の柱となるのは、各種研修会の開催とまちの保健室への参加になります。平成25年度は5疾病関連事業やスキングアの研修を予定しています。研修会では一般の方が参加でき、会員数の増加にも貢献できるような企画を検討しています。



また、まちの保健室の活動については、地域住民の健康支援として、さらに積極的に住民の方々に関わりたいたいと考えています。

活動目標を①看護に関する研修の充実②看護協会への加入促進活動の実施③住民に対する保健活動の強化としました。各施設の役員が連携して活発な地区支部活動を展開していくために、皆様のご協力をお願いいたします。

県北地区支部活動報告

「チーム県北」としての取り組み

県北地区支部長 吉成 朋子

4月から平成24年度県北地区支部活動が開始され、早いものでもう第3四半期が過ぎようとしています。平成24年度は、支部長をはじめ多くの役員が交代となり、活動に当たっては、臨時の役員会を開催するなど試行錯誤ではありましたが、皆様のご協力によりほぼ計画に沿って事業を展開することができました。



「まちの保健室」事業は予定された4会場すべてが終了しております。

「会員交流」事業は50名を超える参加があり、リフレッシュ＆親睦の目標を十分達成したと自負しております。

「研修会」は計画の半分が終了しましたが、今後、市民講座の開催を予定しています。より多くの住民参加を目指して、「チーム県北」として取り組んでいるところです。

今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

安足地区支部活動報告

地域に根差した活動を目ざして

安足地区支部長 岡 順子

平成24年度の研修会は、「摂食嚥下障害」「メンタルヘルスケア」「感染看護」「がんシンポジウム」「糖尿病の生活指導」を企画しました。研修会はずでに3回終了し、85名～110名の参加者がありました。



地域住民や会員以外の方の参加も増加しています。12月に予定している「がんシンポジウム」でも、多くの地域住民が参加していただけるようPR活動を強化し、150名程の参加を見込んでいます。まちの保健室では、8月、12月を除き、毎月第4土曜日にイオンショッピングセンターに於いて健康相談を実施しています。11月4日(土)には佐野健康まつりに参加し、健康相談を実施しました。



平成25年度は、さらに地域に根差した活動を目ざして努力していきたいと思っています。

第17回栃木看護学会学術集会報告 栃木看護学会学術集会を終えて

学会企画委員長 那須赤十字病院 菊池 範江



11月21・22日の2日間「生涯にわたって支える看護—地域で暮らす人々のために—」というテーマの下、第17回栃木看護学会学術集会が開催されました。2日間の参加者は延べ1,273名でした。

山崎初江集会長から、国の健康づくりの取り組みやその実際について講演があり、シンポジウムでは地域医療を担う医師、保健師、在宅で妻を看取った家族、病院の退院支援看護師それぞれの立場から話を聞くことができました。在宅医療に対して幅広く活躍する看護職にとって、多くの示唆を得ることができたのではないのでしょうか。今後更なる看護の質の向上を目指しつつ、平成26年度の第18回栃木看護学会学術集会開催に向けて準備を進めていきたいと思えます。



看護教員養成講習会報告 —看護教員をめざして—

栃木県看護教員養成講習会 五十嵐トヨ子



平成24年度栃木県看護教員養成講習会を4月12日から3月5日迄、栃木県立衛生福祉大学校内で開催しております。講習会の目的は、看護職員の養成に携わる者が、豊かな人間性を養うと共に、看護教育に必要な知識・技術を修得し、看護教育内容の充実及び質の向上を図ることです。受講生は26名で、県内者24名、県外者2名です。授業概要は、38科目951時間で、10月末からは、3週間、看護教育実習を行っており、県内看護学校8校でご指導をいただいております。実習では、講義・演習で学んだ知識・技術を統合させ、授業や実習指導の方法等を体験しています。受講生はこの実習を通し、自己の課題に気づいたり、挫折感を味わいながらも乗り越え、大きく成長しております。この姿に担当者も感激し、共に達成感を得ています。平成25年度もこの講習会が開催されますので、看護教育に熱意をお持ちの皆様、お待ちしております。



看護師確保対策「WLB推進委員会」活動報告

看護師確保対策（WLB）推進委員長 高崎 至子



本事業は2年目に入りました。今年度も県内4施設が9月5・6日の2日間、ワークショップを行い、向こう3年間の取り組みを開始しました。昨年の取り組み施設4病院の経過報告と成果も発表されました。本事業は、看護職員のアンケート結果から現状分析を行い、ミッション（組織の存在理由）、ビジョン（組織が目指す将来像）に向け、全職員がWLB推進体制を整え、職場環境の改善に取り組む事業です。データからの客観的視点は、得難い事実の情報として、施設に大きな成果をもたらす起点になります。会員一人ひとりがこの事業の意義を深く理解し、多くの関心を寄せていただければ幸いです。事実に基づく改革は納得して進めることができます。

今年度から社会経済福祉委員会との共同連携事業として取り組み、推進委員、支援者とを明確にし、事業の充実を図っています。平成25年2月8日には、フォローアップワークショップを公開で行います。一人でも多くの会員の参加をお待ちしています。よろしくお願いいたします。

平成24年度新人看護職員応援研修事業報告

公益社団法人 栃木県看護協会 常任理事 馬込 公子



平成21年7月、保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部改正により、平成22年4月1日から新人看護職員研修の臨床研修等が努力義務化となりました。当看護協会では、法改正以前の平成20年から県の委託を受け新人応援研修事業を実施していました。本格的な研修は昨年度からです。今年度は、新人・実地指導者・教育担当者・研修責任者の対象者別に、4コースの研修会を開催いたしました。就業後1年未満の新人看護職員および実地指導者は、県北・県央・県南の3地域に分かれ同テーマで研修会を開催いたしました。

各回50名余の方が参加し、新人看護職員は「ストレスを溜めないコミュニケーション」「食事について」、実地指導者は「新人看護職員へのメンタルサポートと実地指導者のストレスマネジメント」などを講義やグループワーク等を通して学び合い、また、教育担当者、研修責任者は、「新人看護職員臨床研修体制や部署における体制づくり」「新人看護職員研修の企画と評価」「リフレクション」などのテーマでした。参加者からは「非常に有用な内容であった」と高い評価をいただきました。今後も新人看護職員の職場適応促進と離職防止を推進していきたいと思っております。





研修受講者の感想



スキンケア

開催日／10月10日
参加者数／43名

スキンケアを受講して学んだこと

黒須病院

加藤 幸子

今回の研修会を受講させていただき、皮膚の生理機能を正常に保つためには、皮膚の洗浄・保湿・保護、皮膚層に適度な水分を保持させる必要があること。皮膚を総合的・専門的にアセスメントし、皮膚を取り巻く環境を改善させること。皮膚障害が改善しない場合には、創傷被

覆材を使用することを学びました。今回の研修では、実践編もありスキンケアの方法手技をわかりやすく学ぶこともできました。

今後、皮膚洗浄・清潔・保湿・保護による予防的スキンケアに努め、スタッフと知識・技術の情報を共有してスキンケアを実践していきたいと思います。



新人のためのフィジカルアセスメント

開催日／10月24日
参加者数／110名

新人のためのフィジカルアセスメントを受講して学んだこと

栃木県立がんセンター

松本 仁美

今回の研修を受講し、フィジカルアセスメントとは、看護を行う上で基本中の基本であることを改めて学びました。フィジカルアセスメントを行う際は、どんな目的で何を観察するのか意識することが重要です。アセスメントは、まず正常・異常に気づくことから始まります。異常を区別するために、解剖生理学や診察方法を確実に習得しなければならないことを再確認できました。

私は、看護師になってまだ2年なので、患者さんに対してフィジカルアセスメントを行う際、判断に迷うことが多々あります。そんな時に、この研修で学んだ解剖生理学や身体の部位別触診・聴診方法を行い、フィジカルアセスメントに自信を持っていきたいと思っています。患者さんのために良い看護ができるよう、研修で学んだことを活かしていきたいと思っています。

また、短時間でしたがグループ演習の際に、他病院で勤務している同期の方々との交流が持てて楽しかったです。



リーダーシップ研修

開催日／10月26・27日
参加者数／55名

リーダーシップ研修を通して学んだこと

上都賀総合病院

安良岡比呂美

今回のリーダーシップ研修では、グループワークを通して学んだことが二つある。一つめは、各個人で物事の見え方が全く異なるということである。そのため、他者と協力して物事を進めていく場合、相手の価値観を理解していくことが重要であると感じた。二つめとしては、コンセンサス（全員の合意）による集団決定がいかにか難しいかということである。「人間は納得した時に意見が変わる」ということを、体験するこ

とができた。

また、研修を通して今までの自分の行動についても振り返ることができた。現在、新人指導に携わっているが、どのように関わっていけばよいか悩む場面が多々ある。しかし、今までの自分は「なぜそのように実施したのか」という原因を追及しようとするばかりで、実施したときの相手の感情を聞こうとはしてこなかったように思う。研修で学んだ「気づきを促すための10の方略」を活かして、今後の指導にあたっていきたいと思う。



看護管理に必要な基礎理論

開催日／10月30日
参加者数／99名

組織分析を学んで

足利赤十字病院
関谷 佳子

日々の業務を行っていく中で、業務改善や他職種との連携の難しさを感じ、看護管理の知識を深めたいと思いこの研修の参加を希望しました。研修は、組織分析・交渉術・意思決定という内容の講義でした。組織分析では、SWOT分析・5つの競争要因分析をツールとして、現状を分析した結果から見えてきた課題に対し、事業計画を立案するという過程を、先生が看護部

長をしていた病院で実際に行った事例を挙げ、具体的にお話していただきました。交渉術では、交渉は何のために行うかや交渉をするときのポイントについてお話されていました。意思決定では、意思決定の原則と価値基準を明確に持つことや時間管理能力が大切であるとお話がありました。難しい内容でしたが、事例を用いての講義で興味深く聞くことができました。この研修での学びを、病棟での業務改善や他職種と交渉を行う時に役立てていきたいと思いました。



認定看護管理ファーストレベル研修

開催日／6月21日～11月2日
参加者数／54名

ファーストレベルを受講して

下都賀総合病院
大垣 美香

私は、栃木県看護協会の認定看護管理ファーストレベル研修を終了しました。もう一度看護を見つめなおす機会とし、また専門職としてどうあるべきかを明確にすることで、看護の枠を広げたいと思い受講しました。中堅看護師として、後輩育成は看護の質を高め、さらには組織の目標を達成できる道筋になることや、

問題解決の為にPDCAサイクルを活用し、マネジメントすることが重要であることが分かりました。今後、ますます医療・看護の環境は変化していくと思いますが、自分の基軸をもち、スタッフに示していくことが重要で、柔軟にものごとを考え、組織・病院に貢献していきたいと思っています。今回、他施設の方々と情報交換などを通して、視野や思考を広げることができたことはとても大きな財産です。



職場のメンタルヘルスケア

開催日／10月18日
参加者数／66名

メンタルヘルスケアを通して学んだこと

独立行政法人国立病院機構栃木病院
小林 理佳

現代は心の健康を保てずに、女性の5人に1人がうつ病になる確率があることにとっても驚きました。私自身は、これまでメンタルヘルスの不調とは無縁だと思っていましたが、誰でも起こりうることなのだと思いました。また看護師は、患者の命に携わることでの責任や、医療事故を起こさないよう緊張感のある職業であり、気づかないうちにストレスを受けています。そのストレスを解消する方法として「まずは誰かに話す・話を最後まで聞いてもらうこと」と講

義を受けました。グループワークでは、助言をせずに悩みを話し合う課題がありました。初めは「こんなことを言ったら、どう思われるかな」という思いや、初対面の方々に自分のことを話すという緊張もありましたが、勇気を出して話したところ、皆きちんと話を最後まで聞いてくれました。その結果、とても心が軽くなり、言葉にして話を聞いてもらうだけでもストレスを発散できることを体感しました。今後は、この講義内容を活かして、自分自身のメンタルヘルスケアを行いながら、新人に対しても、まず話を聞く姿勢をもち、ストレス緩和・精神的サポートに努めていきたいです。

看バック!再就業応援プログラム事業

この事業は栃木県から委託を受けている事業です

育児等で離職した看護職員の職場への スムーズなカンバックを応援!

※対象の求職者条件(①～③の要件を満たしている方)

- ①看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)の免許取得者
- ②看護職員の職を離れて概ね1年以上経過し、現在看護業務に従事していない方
- ③週20時間以上の就業ができ、かつ、1年以上継続してその施設で就業する意思のある方

※研修と就業の流れ

- ①栃木県看護協会が、ご本人の希望する就業条件と研修受け入れ施設の条件とマッチングします。
- ②双方の条件が一致しましたら、その施設と雇用契約を結びます。
- ③雇用契約を結んだ施設で働きながら原則3ヶ月以内の職場研修を受けます。研修期間中も給与は支給されます。
- ④研修期間終了後は、そのまま就業が継続されます。

医療・介護施設を募集します!

※募集対象の医療・介護施設(①～④の要件を満たしている施設)

- ①県内に所在する施設
- ②潜在看護職員を1年以上継続して雇用できる施設
- ③看護職員の就労環境に配慮した施設
- ④研修指導者を配置し、研修計画の企画・運営が可能な施設

※職場研修期間中の人件費相当額を県が負担します。

潜在職員を雇用し、研修を実施した施設に対し、研修期間中(原則3ヶ月以内)の人件費相当額を研修業務委託費としてお支払いします。

平成24年度 参加医療・介護施設一覧

No.	施設名
1	NHO栃木病院
2	NHO宇都宮病院
3	宇都宮第一病院
4	宇都宮記念病院
5	宇都宮東病院
6	宇都宮社会保険病院
7	介護老人保健施設 いこいの郷
8	獨協医科大学日光医療センター
9	芳賀赤十字病院
10	下都賀総合病院
11	とちの木病院
12	西方病院
13	小山市民病院
14	那須赤十字病院
15	那須中央病院
16	国際医療福祉大学塩谷病院
17	栃木県医師会塩原温泉病院
18	那須南病院
19	南那須介護老人保健施設
20	足利赤十字病院
21	特別養護老人ホーム義明苑

平成25年1月現在

お問い合わせ・申し込み先

(公社)栃木県看護協会 栃木県ナースセンター
〒320-8503

宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階

TEL 028-625-6141

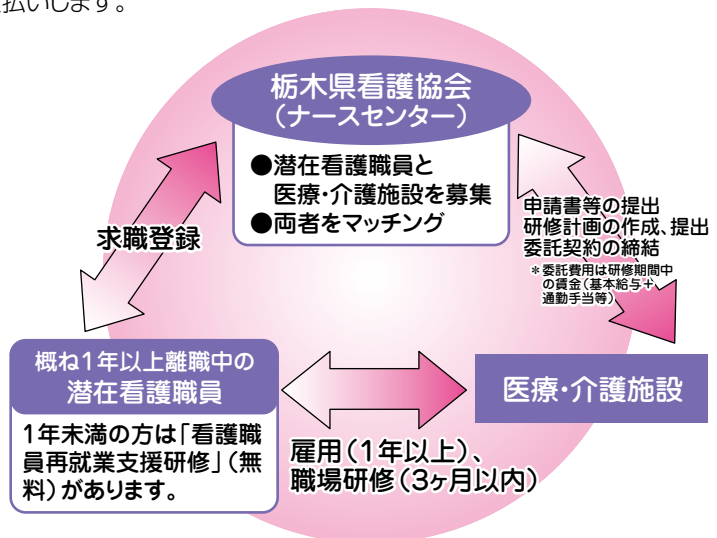
FAX 028-625-8988

e-mail tochigi@nurse-center.net

*詳しくは栃木県看護協会ホームページトピックスをご覧ください。



*求人・求職のご登録は、栃木県看護協会ホームページの「E-ナースセンター」よりネット登録できます。



看護職員イメージアップ対策PR事業

みんなで話そう＝看護の出前授業

平成24年9月7日(金) 第5・6校時を利用して、日光市立大沢中学校3年生140名を対象に、NHO 栃木病院の米本育子・大島真喜・吉田円助産師・野村奈々看護師を講師に迎え、「性教育講座」看護の出前授業が行われました。

大沢中学校では、以前から各学年に必要な「性教育講座」を行っていました。しかし、話を聞くだけでは現実感がなく、好奇心旺盛な中学生に命や自分の体の大切さが理解しにくいと思われ、実際に体験できる機会はないかと、今回、日本教育新聞社を通して栃木県看護協会に依頼を頂き、開催に至りました。3年間の「性教育講座」のまとめとして実施された出前授業の体験講座の様子をご紹介します。

なお、ご希望により中学校・高等学校に出向き、看護の出前授業をいたしますのでご連絡ください。



看護職員再就業支援研修を開催して

下都賀総合病院 岩崎さゆり



当院は、県の事業である看護職員再就業支援研修会を開催し3年目を迎えました。研修会開催目的は、子育てなどの理由で長期間看護職を離れている方の職場復帰を支援することです。

受講生の多くは、最新の技術や知識に驚きながらも、徐々に現役時代を思い出し、積極的に質問をするなどとても活発です。研修中は「そうなんだあ」と驚き、「なるほどお」という感嘆が口々から漏れています。

当院にも、この研修が縁で11名が就職してくださいました。現在までに受講された延べ179名の方との出会いに感謝すると共に、1人でも多くの方の再就業を心から願っています。これからも、地域に潜在する看護職の再就業を応援する活動を継続していきます。



訪問看護師養成講習会で学んだことを活かして

とちぎ訪問看護ステーションうつのみや 大山 仁子



訪問看護師養成講習会が開かれることを知り、基礎的な知識や技術を学びたいと思い、受講させていただきました。

講義は、どれも訪問看護に必要な内容であり、私にとって沢山の学びを得ることができました。特に社会の動向から訪問看護の必要性を感じ、フィジカルアセスメントとコミュニケーション能力の大切さ、利用者と同じ目線同じ気持ちで考え、寄り添えるような環境を整えることを学びました。また、演習では実際使用している物品や器材を手にとって、実践に基づいた体験をすることができました。グループワークの意見交換では、自分自身の視野が広がり、看護観を再確認することができました。

32日間共に学んだ18名の仲間は、それぞれの職場の情報交換を行うことでネットワークが広がり、より一層の親交を深めました。今回講習会で学んだことを活かし、訪問看護師としてがんばっていきたいと思います。



「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」事業

平成24年度WLBフォローアップワークショップ開催 — オブザーバー参加者募集 —

会場 とちぎ健康の森 多目的フロア
日時 平成25年2月8日(金) 13:00～16:45

- ワーク・ライフ・バランスに興味のある方
- 管理者、看護職、事務職、コメディカルどなたでも参加できます。

4か月の取り組みを発表します。

平成24年度参加施設
那須中央病院
上都賀総合病院
西方病院
とちの木病院



平成24年9月5・6日 ワークショップの様子

平成25年度「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」事業参加施設募集

看護職のワーク・ライフ・バランス (WLB) 推進ワークショップとは…

看護職の働き方をなんとかしたい…。看護職が定着する組織にしたい!という病院が集まって、改善策を検討します。

- ◆ 看護職のWLBインデックス調査(N-WLBI)結果から、客観的に現状を把握。
- ◆ WLBの有識者・支援者が、データの分析から、WLB推進に向けたアクション作成をサポートし、約4か月後のフォローアップワークショップで、取り組みを再確認します。
- ◆ 参加施設からは、「インデックス調査により、自施設の強みと弱みが客観的に理解でき、取り組むべき課題が明確になった」と感想が寄せられました。

ワークショップ参加施設は4施設まで! 3月15日(金)メ切り
ワークショップにご興味をもたれた病院施設は、電話・メールにてご一報ください。
詳細をご説明します。

申込先 TEL 028-625-6141 mail info@t-kango.or.jp
主催 栃木県看護協会 **共催** 日本看護協会

平成25年度 栃木県ナースセンター事業

- * 「看護師等無料職業紹介所」… (ナースバンク事業)
- * 「訪問看護師養成講習会」… (訪問看護支援事業)
- * 「ふれあい看護体験」・「看護の日」記念事業… (「看護の心」普及事業)
- * 「看護職員離職調査」(県内109病院対象)
- * 「看護職員イメージアップ対策PR事業」(看護職員による出前授業)
- * 「看護への道」作成・発行
- * 「ナースセンターニュース」作成・発行
- * 「看護職員再就業支援研修」(病院での講義と技術研修)
- * 「在宅ターミナルケア研修」
- * 「ALS患者等在宅療養支援研修」
- * 「看バック!再就業応援プログラム事業」

栃木県看護協会のホームページをご覧くださいの上、ご利用・ご協力をお願いいたします。



ナースバンクニュース

ナースセンターをインターネットで利用してみませんか

e-ナースセンター

全国のナースセンターの事業紹介、看護学校一覧、各種調査結果等が掲載されています。

また、インターネットで求人・求職の登録、検索、紹介依頼ができます。ご利用する場合はユーザーID・パスワードの登録が必要です。来所時、または電話でご一報ください。

無料でご利用いただけます。求職中の方、お知り合いでブランクはあるが、再就職ご希望の方は、研修や就業について支援させていただきます。

ご遠慮なく、お問い合わせください。



<http://www.nurse-center.net/>

QRコードは、スマートフォンのみ使用可能です。



問い合わせ先

公益社団法人 栃木県看護協会
 栃木県ナースセンター
 看護師等無料職業紹介所

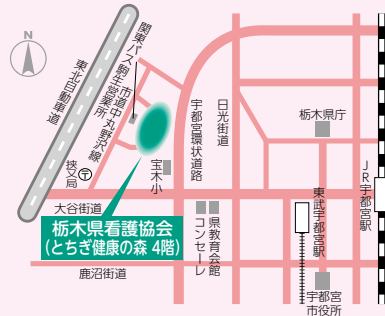
〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階
 TEL 028-625-3831 FAX 028-625-8988
 E-mail tochigi@nurse-center.net

利用曜日
 及び時間 月～金曜日
 9時～16時

休業日 土曜日、日曜日、祝祭日
 年末・年始(12/28～1/4)
 お盆(8/13～16)

栃木県保健福祉部保健福祉課

〒320-8501 宇都宮市塙田1丁目1番20号
 TEL 028-623-3152



交通機関

- JR宇都宮駅から関東バス「駒生営業所」行き(25分)、「とちぎ健康の森」または終点下車。
- 東武宇都宮駅から関東バス「駒生営業所」行き(20分)、「とちぎ健康の森」または終点下車。

5月12日は「看護の日」です!

栃木県 (公社) 栃木県看護協会



こんな活動しています シリーズ 5

— ドクターカーの活動 —

自治医科大学附属病院 高畠 裕介

自治医科大学附属病院のドクターカーは、2010年1月に運行を開始して、3年が経ちました。これまで、300件を超える出動をしてきました。今回は、ドクターカーナースの役割について紹介していきます。

ドクターカーのシステムは、救急隊から要請が来ると現場または搬送中の救急車とドッキングをして、救急車内で処置を行いながら病院まで傷病者を搬送します。

私たちナースは情報収集、処置の介助、記録、患者・家族への対応などを行っています。搬送中の短い時間の中でもやるべきことは多いので、医師、救命士との協力が必要になります。特に救命士の方達とは普段チームを組むことが無いので、ドッキングの時から積極的にコミュニケーションをとるように心がけています。

また、救急車内ではすぐ傍にご家族の方が付き添っていることがあります。患者の状況を間近で見ているので、適宜声をかけるなど家族のケアも大切にしています。

また、当院周辺には東北道、北関東道、国道4号、4号バイパス、国道50号と交通量の多い道路に囲まれているので、交通事故による要請も多くあります。

写真はトラックの事故で挟まれた事案です。クラッシュ症候群予防のためルート確保し、メイロンを投与しているところです。クラッシュ症候群は、2005年に起きたJR福知山線の脱線事故でクローズアップされました。Smile deathという救出後に突然死を起こすこの疾患は、救出前からの大量輸液とメイロンなどの投与が重要と言われています。このような処置を現場で行うことが、ドクターカーによって可能となりました。これからも一人でも多くの患者さんの救命に寄与できるように活動していきたいと思ひます。



私の職場の好きなおとこ

シリーズ **38**

新上三川病院 稲見 悦宏

連携の取れた職場



私が働いている回復期リハビリ病棟は、急性期病棟での治療を終了し、障害を受けた機能の回復を目的に沢山の患者様が入院されて来ます。

脳血管疾患、運動器疾患の患者様が入院されており、また年齢層にも幅があります。障害の程度、障害の部位も異なる患者様のADLが、少しでも向上し、発症前の状態に近づけられるよう、1日最大3時間のリハビリを行っています。

そのため、多職種で1人の患者様に関わる病棟でもあり、チーム内の連携が非常に重要になって来ます。

私が働く病棟には、医師・リハビリスタッフ・看護師・ケアワーカー・ソーシャルワーカー等の職種が配置されており、統一した目標に向かって患者様やご家族と何度も話し合いを行っ

ております。

時にはスタッフ間で意見の相違が生じることもありますが、そんな時には、何度も意見交換を行い、患者様が満足のいくゴールにたどり着けるよう援助しています。

それぞれのスタッフが一生懸命だからこそ、患者様から「こんなに動けるようになった」、「この病院に入院して本当に良かった」などのお言葉をいただけるのだと思います。

自分の母親(?)の年齢と思われる大ベテランスタッフから、同年代・妹弟の年代まで、スタッフの年齢層も幅があるため、とてもアットホームな雰囲気、業務だけでなく、プライベートに関しても、気軽に相談し合える仲間が沢山いる職場です。そんな職場が私は大好きです。

これからも、患者様や御家族様が退院後によりよい生活が送れるよう、個々に合ったきめ細やかなケアを提供できるよう、スタッフ間の連携強化に努めたいと思います。



募集のお知らせ

♥「私の職場の好きなおとこ」の原稿を募集しています。

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F 栃木県看護協会 広報委員会宛

一般の方のコーナー

「手洗い」で防ごう インフルエンザ!



国立病院機構 宇都宮病院 感染管理認定看護師 斎藤 恵子

朝晩の冷え込みが続きますが、皆様体調を崩してはいませんか。寒さが厳しくなる12月～3月にかけて、季節性のインフルエンザが流行する時期を迎えます。インフルエンザを防止するための対策としては、手洗い、うがい、マスク着用などが有効です。

今回は、石鹸と流水・手指消毒用アルコール製剤による手洗いのポイントについて、お話します。

石鹸と流水での手洗いは、汚れが残りやすい指の間や指先、親指を意識して15～20秒（ハッピーバースデーの歌×2回）行いましょう。（写真1）

（写真1）石鹸と流水の手洗い

指の間もよく洗う



指先は特に念入りに洗う



親指を握り洗いする



手指消毒用アルコール製剤は、ポンプを1～2回プッシュし、手のひらに液が溜まっているうちに、両手の指先を消毒した後、両手を擦り合わせて十分に乾燥させましょう。（写真2）

（写真2）アルコールによる手洗い方法

最初に両手の指先を消毒する



指の間は根本まですり込む



ジョンソン・エンド・ジョンソンホームページ：<http://www.jjasp.jp>より

帰宅時や食事の前に適切な手洗いを行い、インフルエンザ感染を防ぎましょう！



味自慢

スペアリブの マーマレード煮



●材 料(6~8人分)

豚スペアリブ 1kg オレンジマーマレード 好みで1/2瓶~1瓶
 クレソンなど
 しょうゆ・酒 (マーマレードの瓶の1/2ずつ)
 塩・こしょう少々 油

●作り方

- 1 スペアリブに塩とこしょう少々を振って、手でもみ込んでなじませる。
- 2 フライパンに油少々をひき、1のスペアリブを入れ焼き色をつける。
- 3 2にマーマレードとしょうゆと酒を加え、蓋をして汁けがなくなるまでゆっくりコトコトと煮込む。
途中、肉をひっくり返して、まんべんなく火が通るように煮る。

*簡単だけど豪華！パーティーなどにもどうぞ。

料理提供者：小山市民病院 3匹の子ねこ

ペット自慢

写真提供：獨協医科大学
倉持みのちゃんの娘

倉持みのちゃん
(8才・おとこ)

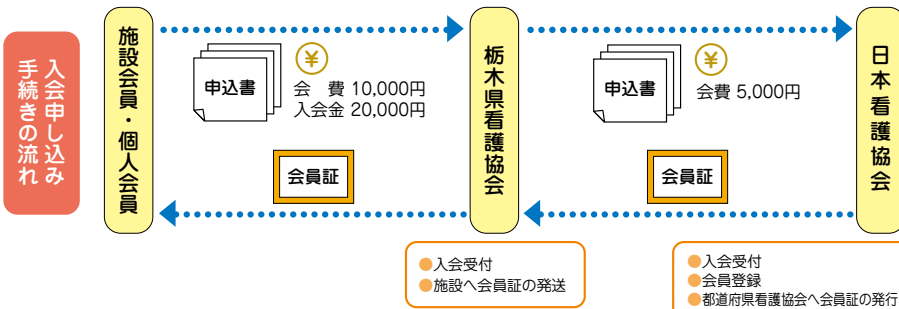


今年
還暦です



「継続入会手続」のご案内

平成25年度の入会手続を受付けます



会費納入につきましては平成25年1月末日までに日本看護協会へ前納致しますのでよろしくお願い致します。
 (日本看護協会から「入会および継続申請」の受付手続きについて受託しております)

※県看護協会に入会申込書が届いてから、会員証発行までに1ヶ月~2ヶ月ほどかかります。
 ※平成25年度会員証の送付は、3月以降となります。
 ※送金と同時に入会申込書を送付してください。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
 公益法人となり、初めての年越し。2年目となる2013年は、飛躍の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。(福田 記)

